



中部電力

# 2021年度第3四半期 決算説明資料

2022年1月28日

	<スライド番号>
<b>I 2021年度第3四半期 決算概要</b>	
決算概要	..... 1
セグメント別決算概要	..... 4
発電電力量	..... 8
（参考）期ずれ影響のイメージ（実績）	..... 9
2021年度 業績見通しの概要	.....10
（参考）期ずれ影響のイメージ（年度見通し）	.....12
<b>II 参考データ：決算・財務関連</b>	<スライド番号>
連結収支比較表	.....13
連結財政状態の概要	.....14
2021年度 セグメント別業績見通し	.....15
財務関連指標等	.....16

# I 2021年度第3四半期 決算概要

---

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。  
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

# 決算概要①

## 〈決算のポイント〉(連結)

- 売上高：1兆8,268億円  
「収益認識に関する会計基準」の適用影響（△4,729億円）などから、前年同期に比べ 2,856億円の減収
- 経常損益：△51億円  
JERAにおけるLNGおよび石炭トレーディング事業の利益増加や新型コロナウイルス感染症影響の反動による収支向上などはあったものの、期ずれが差益から差損に転じたこと(△1,710億円[660億円→△1,050億円])や、ミライズにおける競争影響による収支悪化および卸電力取引市場の価格高騰に伴う電源調達コストの増加などから、前年同期に比べ 1,966億円の減益（参考）期ずれを除いた経常利益：1,000億円程度（前年同期に比べ 250億円程度の減益）
- 特別損益：△56億円  
2021年1月の電力需給ひっ迫に伴うインバランス料金の高騰を受けて、中部電力パワーグリッドが受領したインバランス料金の一部を還元する金額を特別損失に計上

- ・ 売上高は、2020/3Qに続き、2年連続の減収
- ・ 2016/3Q以来、5年ぶりの減収減益
- ・ 経常損益は、2018/3Q以来、3年ぶりの減益
- ・ 2013/3Q以来、8年ぶりの赤字

(億円,%)

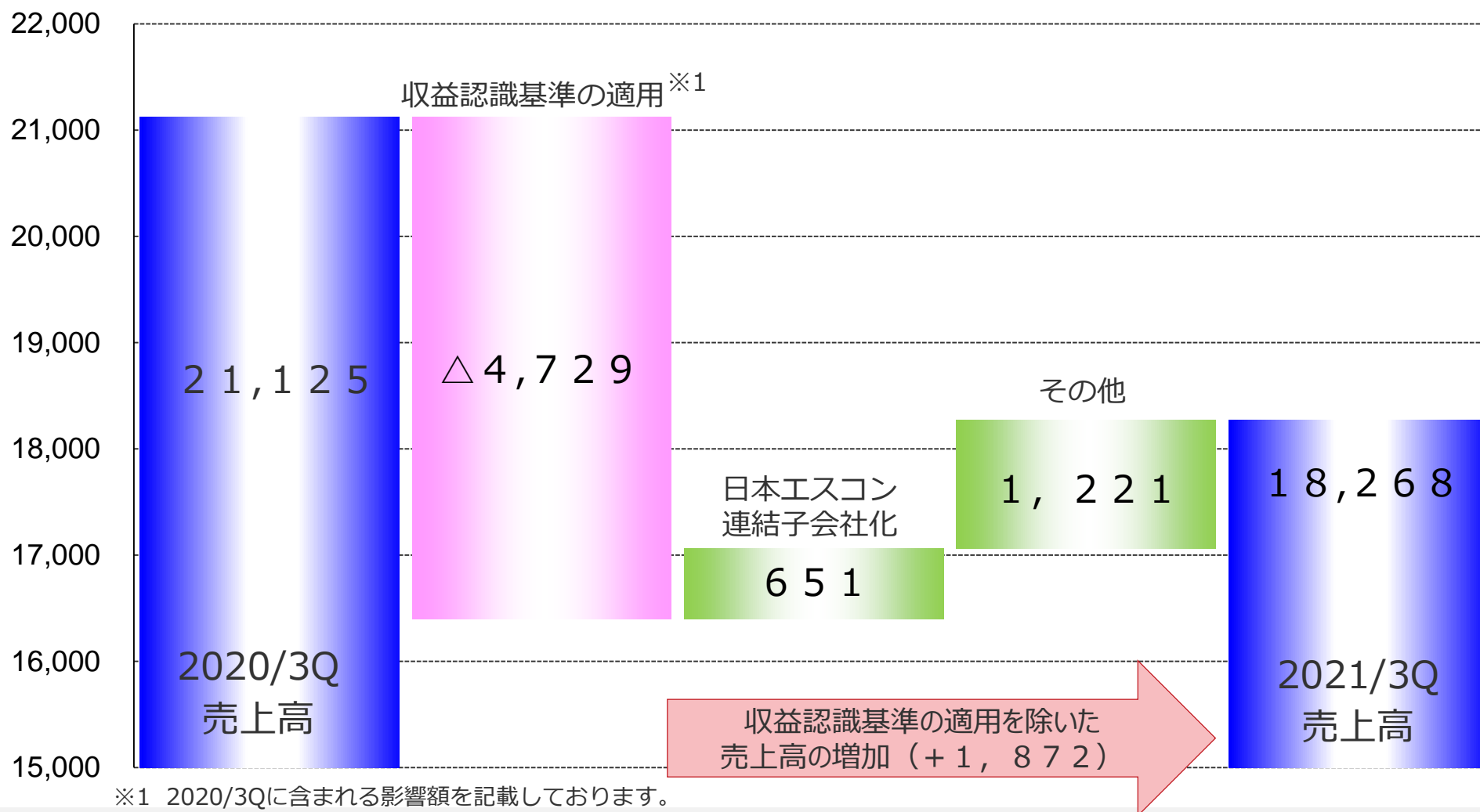
	2021/3Q	2020/3Q	増減	
	(A)	(B)	(A-B)	(A-B)/B
売上高	18,268	21,125	△2,856	△13.5
営業損益	△18	1,120	△1,138	—
経常損益	△51	1,914	△1,966	—
特別損益	△56	—	△56	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△131	1,566	△1,698	—

(注) 連結対象会社数 2021/3Q 連結子会社 62社(+24社) 持分法適用会社 58社(+10社) [ ( ) 内は前年同期差 ]

# 決算概要②

## 〈連結売上高の変動要因〉 (2,856億円の減収)

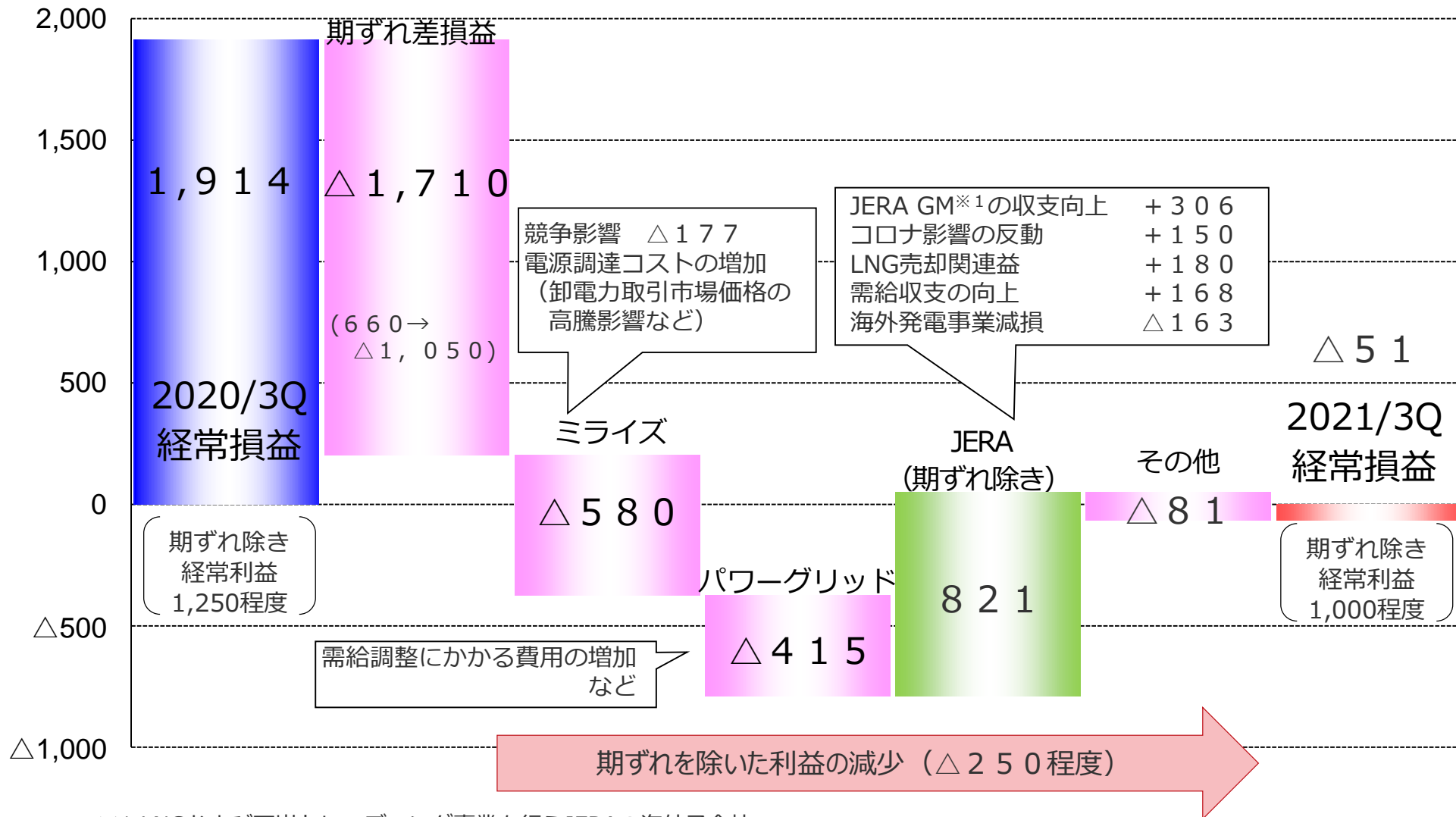
(単位：億円)



# 決算概要③

## 〈連結経常損益の変動要因〉 (1,966億円の減益)

(単位：億円)



※1 LNGおよび石炭トレーディング事業を行うJERAの海外子会社

# セグメント別決算概要①

## 【売上高】

(億円,%)

	2021/3Q (A)	2020/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	13,713	17,708	△3,995	△22.6
パワーグリッド	5,962	5,502	459	8.4
その他(※1)	6,041	5,288	753	14.2
調整額	△7,448	△7,373	△74	1.0
合計	18,268	21,125	△2,856	△13.5

## 【経常損益】

(億円,%)

	2021/3Q (A)	2020/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	△260	320	△580	—
パワーグリッド	△149	266	△415	—
J E R A (※2)	△2	886	△888	—
その他(※1)	1,163	693	470	67.9
調整額	△803	△251	△552	219.8
合計	△51	1,914	△1,966	—

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

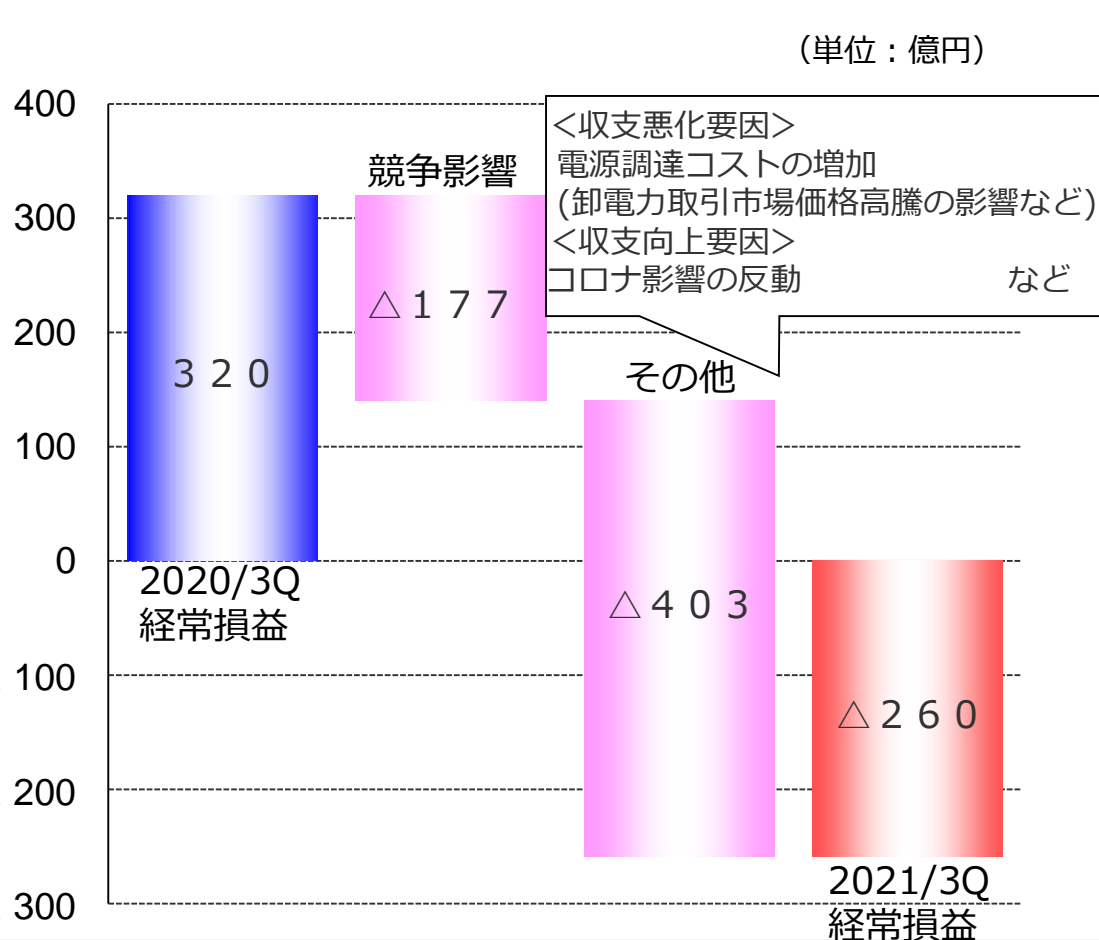
※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R A は、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

# セグメント別決算概要②：ミライズ

## 〈経常損益の変動要因〉

- 新型コロナウイルス感染症影響の反動による収支向上などはあったものの、競争影響による収支悪化や卸電力取引市場の価格高騰による電源調達コストの増加などから、前年同期に比べ 580億円の減益



(販売電力量)

	'21/3Q (A)	'20/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	217	233	△16	△6.9
高圧・特別高圧	575	575	△0	△0.0
合計	792	808	△16	△2.0

競争影響△36程度、気温・景気等+21程度

[参考]

	'21/3Q (A)	'20/3Q (B)	(A-B)	(A-B)/B
グループ合計の 販売電力量	857	853	3	0.4

他社販売電力量	'21/3Q (A)	'20/3Q (B)	(A-B)	(A-B)/B
	78	53	25	47.3

※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。

※ 他社販売電力量は中部電力ミライズの子会社および関連会社への販売電力量を除いて記載しております。

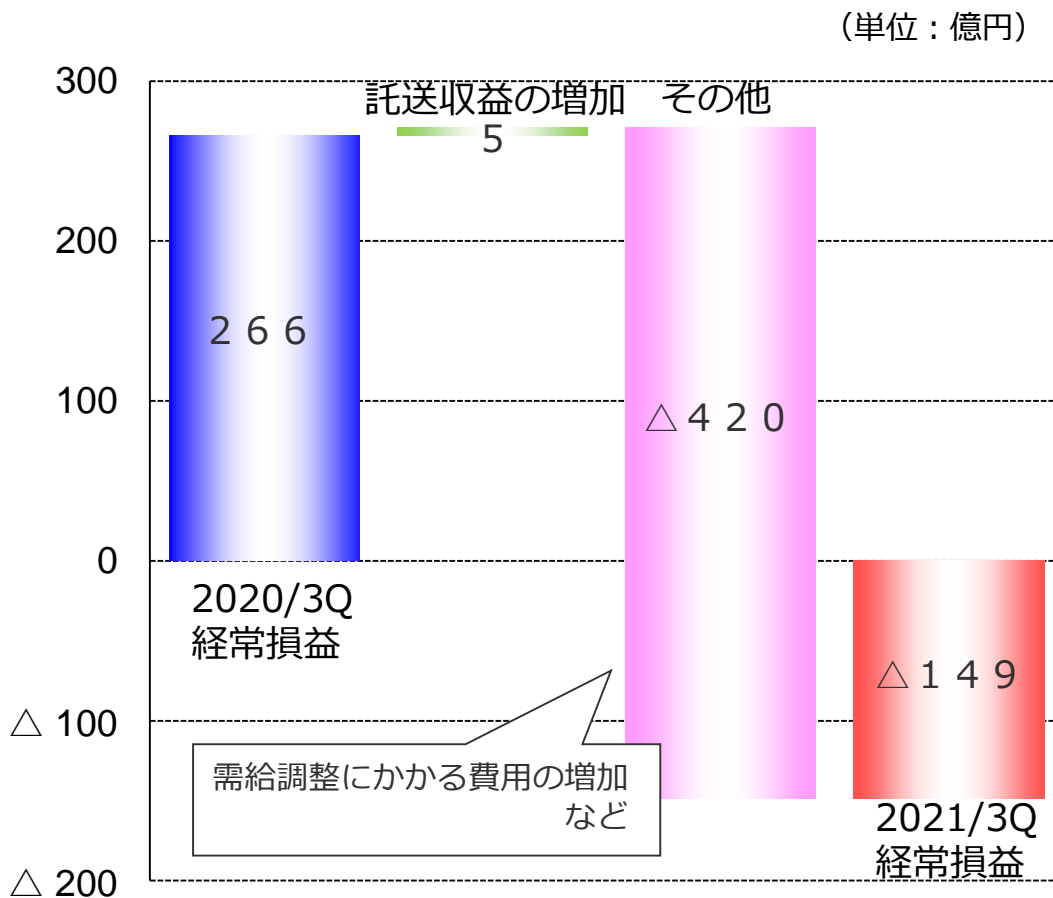
※ 他社販売電力量は期末時点で把握している電力量を記載しております。



# セグメント別決算概要③：パワーグリッド

## 〈経常損益の変動要因〉

- 託送収益の増加はあったものの、需給調整にかかる費用の増加などから、前年同期に比べ 415億円の減益



(エリア需要)

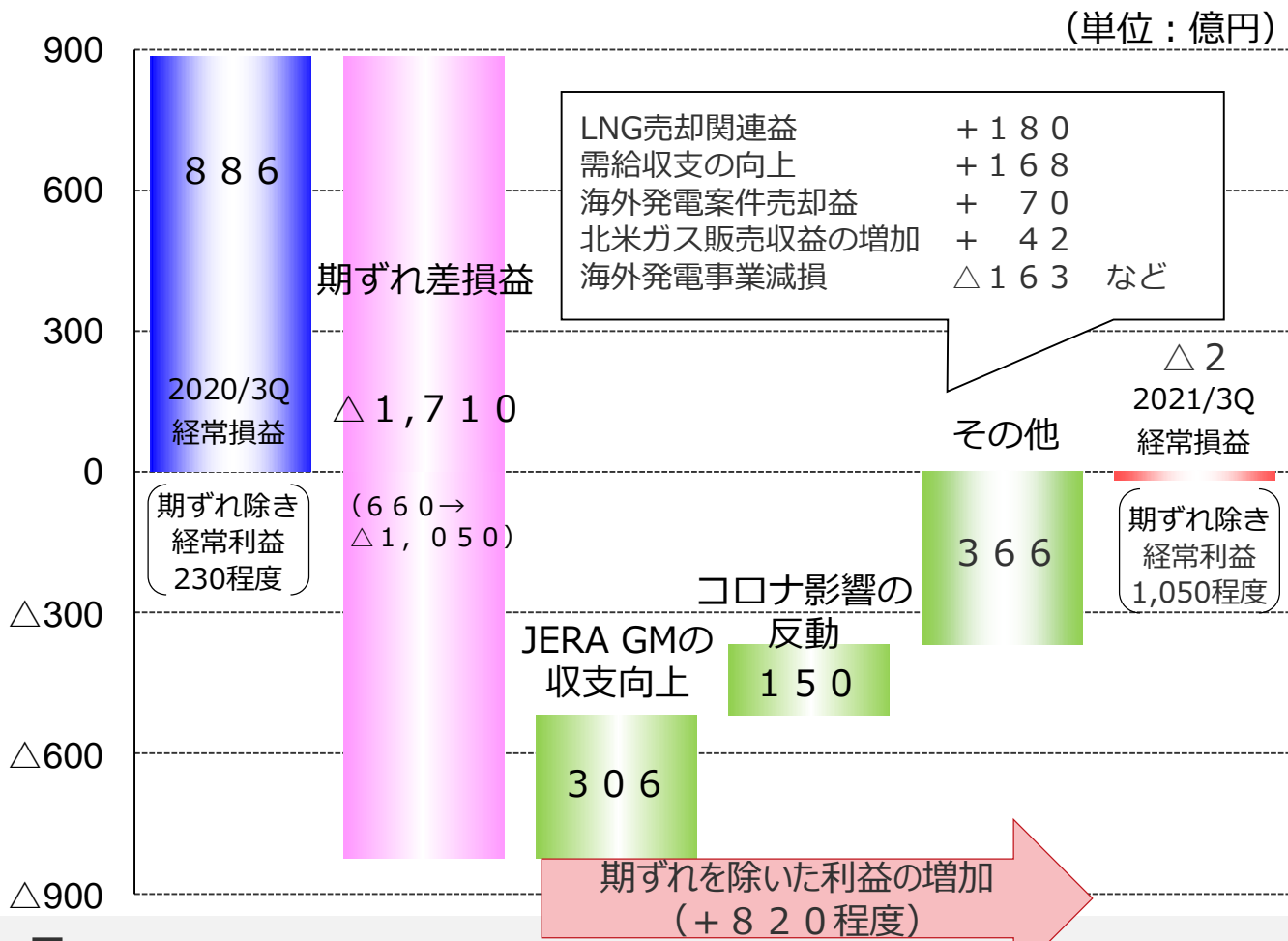
(億kWh,%)

	'21/3Q (A)	'20/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	267	273	△6	△2.1
高圧・特高	654	625	30	4.7
合計	922	898	24	2.7

# セグメント別決算概要④：J E R A

## 〈経常損益の変動要因〉

- LNGおよび石炭トレーディング事業を行うJERA GMの収支向上や新型コロナウイルス感染症影響の反動による収支向上などはあったものの、期ずれが差益から差損に転じたことによる収支悪化などにより、前年同期に比べ 888億円の減益（参考）期ずれを除いた経常利益：1,050億円程度（前年同期に比べ 820億円程度の増益）



(CIF価格・為替レート)

	'21/3Q (A)	'20/3Q (B)	増減 (A-B)
原油CIF価格(\$/b)	74.0	39.1	34.9
為替レート(円/\$)	111.1	106.1	5.0

※2021/3Qの原油CIF価格は速報値

(参考：JERA連結決算値)

	'21/3Q (A)	'20/3Q (B)	増減 (A-B)
連結純利益(億円)	184 (2,283)	1,965 (641)	△1,781 (1,641)

( ) 内は期ずれ除き連結純利益

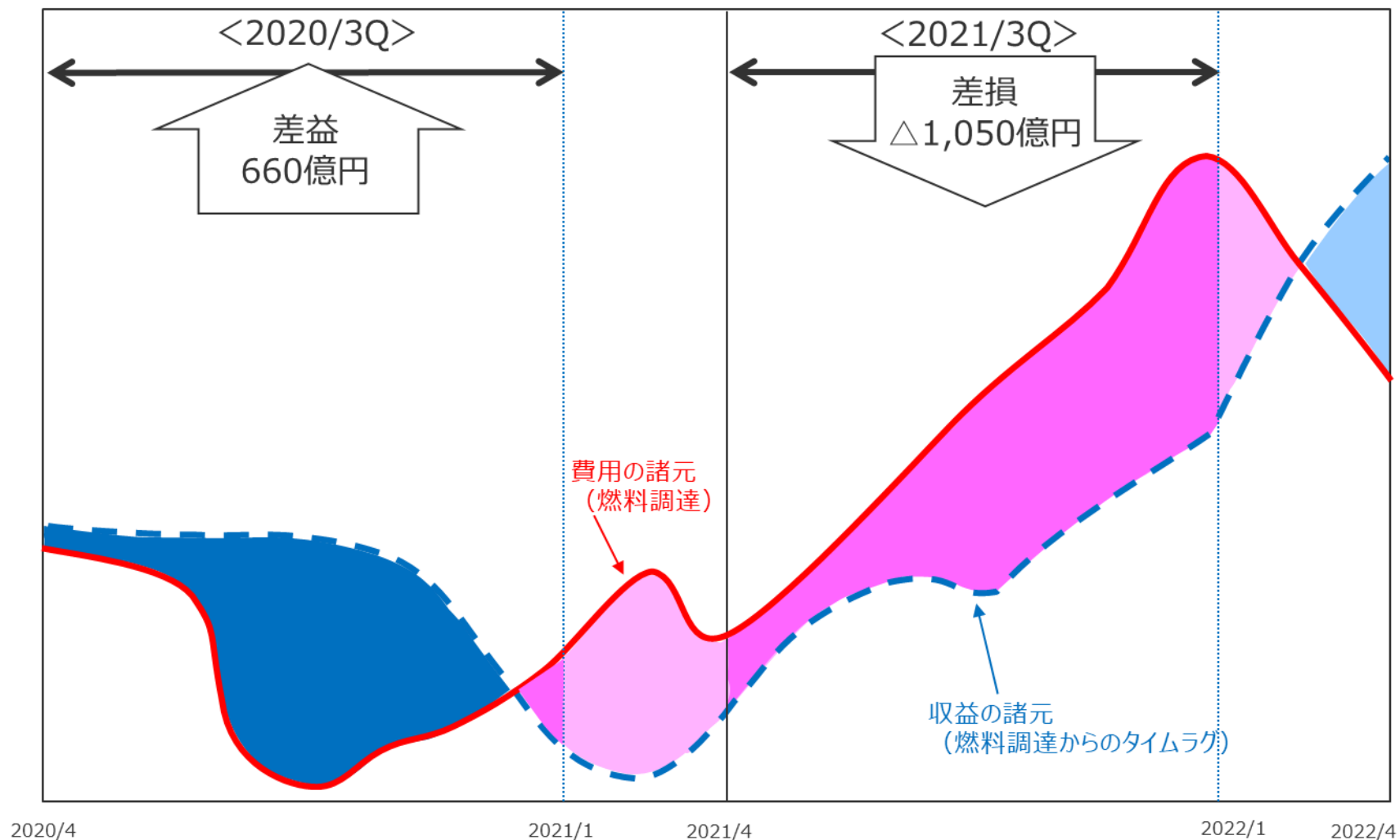
## 〈発電電力量〉（中部電力）

- **水力** 出水率が前年同期を上回り、2億kWh増加
- **新エネルギー** 前年同期並み

(億kWh,%)

	2021/3Q (A)	2020/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	71 (103.9)	69 (101.4)	2 (2.5)	2.6
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
新エネルギー	3	3	△0	△12.2
合計	73	72	1	2.0

# (参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



# 2021年度 業績見通しの概要①

## 〈業績見通し〉(連結) 2021年10月28日公表の業績予想値を修正

- 売上高：2兆6,000億円  
燃料価格の高騰に伴う燃料費調整額や他社販売電力料の増加などにより、前回公表から1,000億円の増収
  - 経常損益：△500億円  
JERAにおけるLNGおよび石炭トレーディング事業の利益増加などはあるが、燃料価格の高騰に伴う期ずれ差損の拡大に加え、ミライズにおける卸電力取引市場の価格高騰に伴う電源調達コストの増加などにより、前回公表から950億円の減益  
なお、期ずれを除いた利益は、500億円程度となる見込み（前回公表から700億円の減益）
- ・ 売上高は、2020年度に続き、2年連続の減収
  - ・ 2016年度以来、5年ぶりの減収減益
  - ・ 経常損益は、2018年度以来、3年ぶりの減益
  - ・ 2013年度以来、8年ぶりの赤字
- (億円,%)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	26,000	25,000	1,000程度	4.0
経常損益	△500	450	△950程度	—
親会社株主に帰属する当期純損益	△450	250	△700程度	—

[参考] 前期比較

(億円,%)

	今回公表 (A)	2020年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	26,000	29,354	△3,350程度	△11.4
経常損益	△500	1,922	△2,420程度	—
親会社株主に帰属する当期純損益	△450	1,472	△1,920程度	—

# 2021年度 業績見通しの概要②

## 【主要諸元】

(中部電力ミライズの販売電力量) 競争影響△10程度 (億kWh,%)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,089	1,099	△10	△0.9
グループ合計の販売電力量	1,175	1,180	△5	△0.4

## [参考] 前期比較

競争影響△45程度、気温・景気等+30程度 (億kWh,%)

	今回公表 (A)	2020年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,089	1,107	△18	△1.7
グループ合計の販売電力量	1,175	1,171	4	0.3

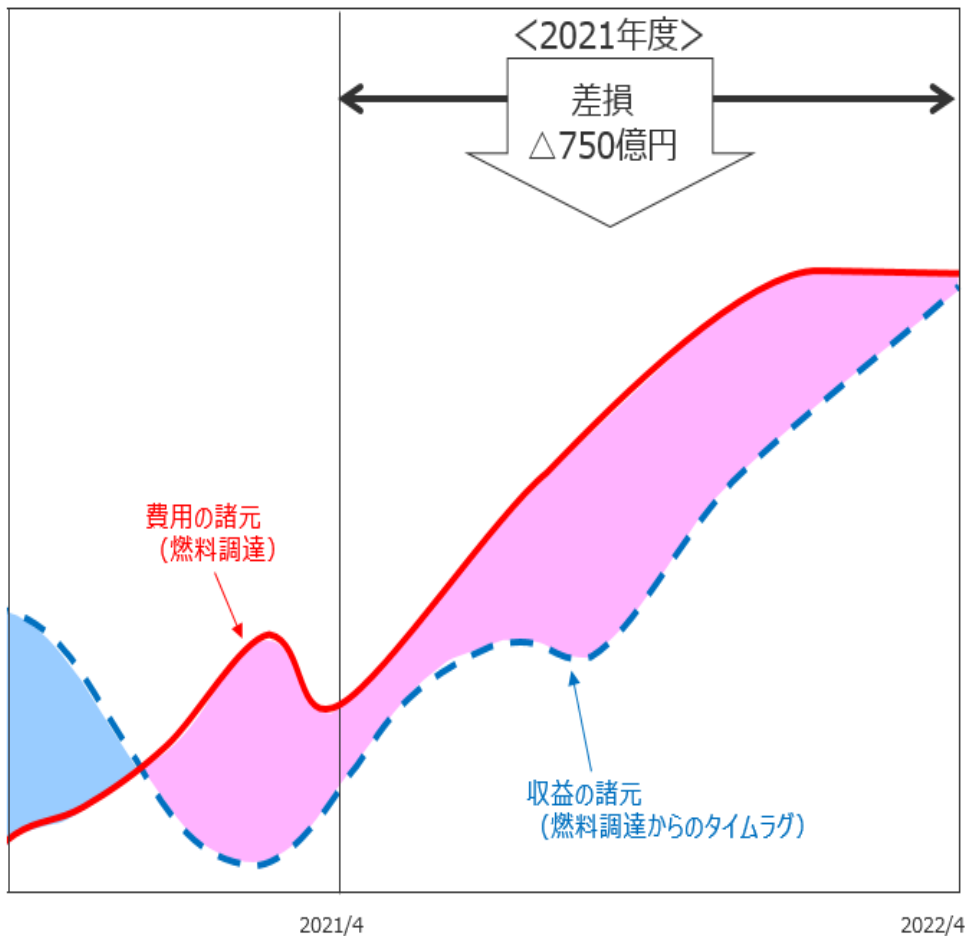
※ グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

## (その他)

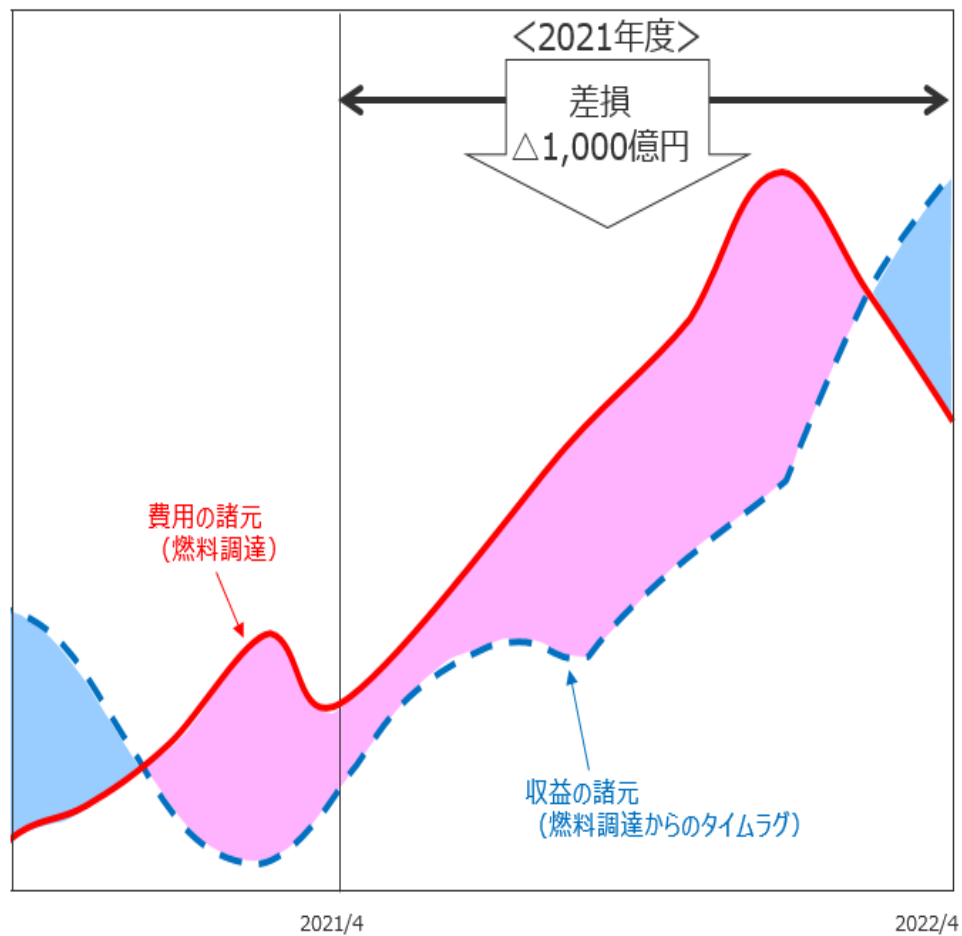
	今回公表	10/28公表	<参考> 2020年度実績
原油CIF価格 (\$/b)	75程度	73程度	43
為替レート (円/\$)	112程度	110程度	106
原子力利用率 (%)	—	—	—

# (参考) 期ずれ影響のイメージ (年度見通し)

○10月公表 (△750億円)



○今回公表 (△1,000億円)



# Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

---



# 連結収支比較表

(億円,%)

	2021/3Q (A)	2020/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	18,268	21,125	△2,856	△13.5
持分法による投資利益	24	903	△879	△97.3
その他収益	135	57	78	138.1
営業外収益	160	960	△800	△83.3
経常収益	18,429	22,086	△3,657	△16.6
営業費用	18,286	20,005	△1,718	△8.6
営業外費用	193	166	26	16.2
経常費用	18,480	20,171	△1,691	△8.4
(営業損益)	(△18)	(1,120)	(△1,138)	(—)
経常損益	△51	1,914	△1,966	—
特別損益	△56	—	△56	—
法人税等	9	318	△308	△96.9
非支配株主に帰属する四半期純損益	13	30	△16	△54.5
親会社株主に帰属する四半期純損益	△131	1,566	△1,698	—

# 連結財政状態の概要

(億円)

	2021/12末 (A)	2021/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	60,986	56,863	4,122
負債	39,737	35,826	3,910
純資産	21,248	21,036	211

<主な増減理由>

日本エスコン連結子会社化に伴う増加 など

	2021/12末 (A)	2021/3末 (B)	増減 (A-B)	2021年度 見通し
自己資本比率(%)	33.1	35.7	△2.6	32程度
有利子負債残高	27,922	23,336	4,585	28,000程度
D/Eレシオ (倍)	1.3	1.2	0.1	1.3程度

# 2021年度 セグメント別業績見通し

## 【経常損益】

(億円,%)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	△550	150	△700程度	—
パワーグリッド	△200	100	△300程度	—
J E R A	△130 (870)	△130 (620)	— (250程度)	— (40.3)
その他・調整額	380	330	50程度	15.2
合計	△500 (500程度)	450 (1,200程度)	△950程度 (△700程度)	— (△58.3)

( ) 内は期ずれ除き経常利益

## (参考) JERA連結業績見通し

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
J E R A 連結純利益	0 (2,000)	0 (1,500)	— (500程度)	— (33.3)

( ) 内は期ずれ除き連結純利益

(%)

	2021年度 見通し	【参考】 2020年度
ROA	△0.5程度 (1.0程度)	3.8 (3.4)
ROE	△2.5程度 (2.5程度)	7.5 (6.3)

( ) 内は期ずれ除きの数値

(億円)

	2021年度 見通し	2021/3Q	【参考】 2020年度
戦略的投資	1,000程度 (2,500程度)	700程度 (2,200程度)	400程度 (1,500程度)

( )内は2019年度からの累計額。当社は2019年度から2023年度までの5年間累計4,000億円以上の戦略的投資を目指しております。また、2021年11月に公表した経営ビジョン2.0は、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の戦略的投資を目指しております。

## 本資料取扱上のご注意

本資料の業績見通しは、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。